

---

## 第四場 ●—— 今なぜ、“協働のまちづくり”？

---

「都市化の波」を受けて、隣人の顔も知らないなど「コミュニティ<sup>\*1</sup>の希薄化」が進行しています。地域社会での「心のふれあい」や「助け合い」が薄れ、また、「住民や地域が主体的に担ってきたまちづくりの仕組み」が次第に失われつつあります。そして広い分野で「行政への依存傾向」が進むと同時に「行政の肥大化」を招いてきました。

一方、「住民ニーズやライフスタイルの多様化・個別化・複雑化」が進む中、「行政だけではきめ細かな社会サービスの提供に限界」が提起されるようになりました。

また、「地方分権が進展」する中、魅力あふれる都市を築くためには、「地域の特性を活かしたまちづくり」「地域を知り、地域に愛着を持つ住民によるまちづくり」が必要です。

さらに、従来の市民参加型をさらに進めた「市民参画<sup>\*2</sup>型」の行政運営の展開を求める声が高まっています。

これらの社会的課題やニーズに対応し、解決していく仕組みが、“協働のまちづくり”です。

「市民満足度や地域力<sup>\*3</sup>を高め」、「明日の住民自治<sup>\*4</sup>の確立」を目指す“協働のまちづくり”の推進は、21世紀の「新しい地方の時代」の条件とも言えます。

## 第四場 ●——今なぜ、“協働のまちづくり”？

## 【解説】

## 「コミュニティの希薄化」

近年、コミュニティの希薄化が問われています。昔から、地域が担って来た相互扶助の機能（葬儀・子育て・介護など）は、企業や行政によって代替されるようになりました。道路や水道などのインフラ（基盤）整備が進み、農業の近代化、高度情報化などが、地域の共同作業の必要性を薄めてきました。さらに、少子高齢社会の到来と核家族化、個人の価値観と娯楽の多様化、住民の転出入、経済社会の変容などが、コミュニティの希薄化に拍車をかけました。また、ときとして地域固有の伝統行事やまつりなどが失われていきました。

## 「地域が担っていたまちづくりの権限」

もともと地域には、地域の課題を自分たちで解決し、決定していく機能が備わっていました。地域の一員として、お互いが快適に暮らすため、美化の習慣、環境の保全、景観の保持などについての暗黙のルールや仕組みが、ごく普通に機能していました。しかし、時代の変化とともに公共空間の管理をはじめ、地域の課題解決についての行政への依存傾向が強まり、その結果、地域で培われてきたルールやまちづくりの仕組みも、その機能を弱めていきました。このことは同時に、住民相互の助け合いや心のふれあいにも、少なからず影響を与えてきたと思われます。

## 「市民満足度を高めるためには」

公平・効率を求められる行政、利益を上げることが求められる企業だけでは、住民ニーズの多様化・個別化・複雑化に対応することが困難となってきました。市民と行政の役割について、今一度整理し、目標の達成度と市民の満足度を、より高い次元で、かつ効率的に実現できる仕組みが必要です。それが“協働のまちづくり”と言えます。

## 「地方分権と地域のまちづくり」

地方分権が進展する中、地域に固有の文化・歴史・資源などを活用して、住民主体によるまちづくりを進めるため、住民自治の新しいフレーム（枠組み）を築くことが必要です。“協働のまちづくり”は、その大きな柱と言えます。

## \*1 コミュニティ

多様な生活形態を基礎として形成されるまとまり・結びつきのひろがり。住民一人ひとりのつながりに始まり、地縁による「地域型コミュニティ」、特定のテーマを持った「目的型コミュニティ」、企業・事務所などによる「地域経済型コミュニティ」、インターネットを介する「電子コミュニティ」などがあります。

## \*2 市民参画

受動的なまちづくりへの参加にとどまらず、さらに政策立案から実施・評価まで、能動的にまちづくりに関わること。

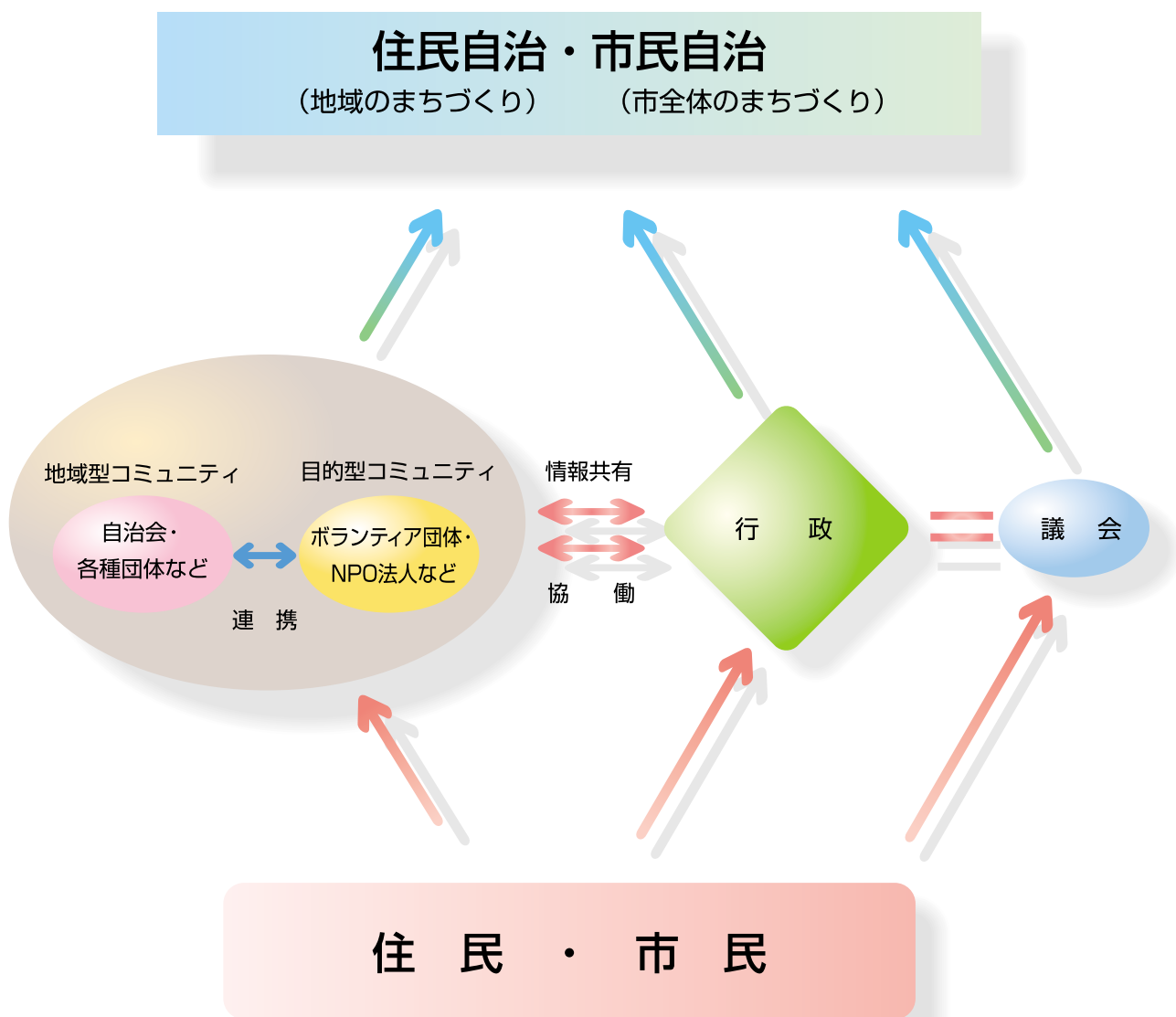
## \*3 地域力

地域の持つ資源、安全・安心の環境、子育て・教育環境、公共マナーやまちづくりに対する住民意識など、あらゆる分野において、より高いレベルを目指しながら、地域の魅力や良好な環境をかもし出し、築き上げることによって培われる地域の力。これを担う住民の力は、住民力・市民力とも言えます。これらが積み重なって、岐阜市全体の地域力も形成されます。

## \*4 住民自治

住民自らが、主体的に地域のまちづくりを協働して進めること。近年、地方分権や合併を契機に、住民自治の制度的拡充が、進みつつあります。また、岐阜市全体を指して、市民自治と言います。

住民自治への“協働”概念



第四場 ●—— 今なぜ、“協働のまちづくり”？

社会的背景に対応する新しい市民社会の構築

- 背景
- ・心の豊かさの追求・自己実現志向の高まり
  - ・地域の防災から地球規模の環境問題まで一人ひとりが深く関わる時代
  - ・地方分権・都市内分権・固有の地域づくりの希求
  - ・行政の担う社会サービスの限界
  - ・経済成長の伸び悩み
  - ・少子高齢化・国際化・広域化・高度情報化などの進展

テーマ 「協働のまちづくり」

目標

住民自治・市民自治による新しい市民社会の構築

